

令和2年度「日本絹の里大学」受講生募集

今年も「日本絹の里大学」を開校します。
絹や蚕について専門家がわかりやすく解説いたします。
一緒に勉強しませんか！



《令和2年度カリキュラム》 (詳細は裏面をご覧ください)

期 日	講 師 紹 介
10/17(土)	① 高崎商科大学 特任教授 熊倉 浩靖
	② 花遊染 主宰・友禅作家 永井 與子
10/31(土)	③ 東京農工大学大学院工学研究院生命機能科学部門 准教授 中澤 靖元
	④ 桐生大学短期大学部アート・デザイン学科 講師 寺村 サチコ
11/14(土)	⑤ 鷺宮 咲前神社 宮司 和田 雅之
	⑥ 蚕絲館 主宰・座繰糸作家 東 宣江
11/28(土)	⑦ (一財)大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 所長 清水 重人
	⑧ 群馬県立世界遺産センター 所長 高橋 陽一

※新型コロナウイルス感染症の発生状況により、開催日時や内容など変更する場合があります

- ◆会 場 日本絹の里 2階会議室
- ◆開講時間 13:30~15:50 (講義内容により時間が多少変わることがあります)
- ◆受講料 (教材費含む) 3,000円 (開校式当日に徴収いたします)
 - ・講義開催日は、特別展等の観覧料が受講生は無料になります。
 - ・受講年度の「日本絹の里紀要」を1冊差し上げます。
- ◆修了証書の授与 5講座以上出席された方には、日本絹の里館長から修了証書を授与いたします。
- ◆募集人数 先着25名
- ◆応募方法 往復ハガキの往信裏面に、①氏名(ふりがな)、②住所、③郵便番号、④年齢、⑤電話番号、返信表面に、ご自身の①住所、②氏名を記入のうえ、日本絹の里「日本絹の里大学係」あてにお申し込みください。

※切 令和2年9月18日(金) 必着



日本絹の里
NIPPON SILK CENTER

〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1

TEL 027-360-6300 / FAX 027-360-6301

令和2年度「日本絹の里大学」カリキュラム

開催日	時間	講義題目	講師	講義内容
10月17日 (土)	13:30～13:40	開校式		
	13:40～14:40	オールぐんまで成り立ったシルクカントリリー	高崎商科大学 特任教授 熊倉 浩靖	戦前群馬がシルクカントリリーと呼ばれたのは蚕種・養蚕・製糸・染織からなる生産と流通・金融とが循環する産業構造を持っていたからである。現代群馬の産業振興・地域創生のためにも、その全体像を確認し合いたい。
10月31日 (土)	14:50～15:50	江戸友禅の世界とその思い	花遊染 主宰 友禅作家 永井 興子	17世紀に京都で活躍した扇絵師である宮崎友禅斎を起源とする友禅。そして、京友禅の染技法を用いて江戸好みに染め上げたものが江戸友禅です。今から半世紀前の東京に於ける江戸友禅の世界と友禅に対する私の思いをお話しします。
	13:30～14:30	未来を拓くシルク素材 ー再生医療への挑戦と可能性ー	東京農工大学大学院工学研究院 生命機能科学部門 准教授 中澤 靖元	シルクは繊維としての利用のみならず、水溶液、フィルム、スポンジ、不織布等、様々な形態に加工が可能であり、これらを再生医療材料へ応用する研究が多く行われています。本講義では、再生医療分野に関するシルク研究と今後の展望についてお話しします。
	14:40～15:40	絹による造形の可能性を探して	桐生大学短期大学部 アート・デザイン学科 講師 寺村 サチコ	伝統的な染色の技法も、考え方や見方を変えると新しいかたちの発見があります。絞り染めや型染め等の染色技法と絹の特性を応用した立体造形作品の表現について、素材の持つ魅力とともにお話させていただきます。
	13:30～14:30	日本の神々と養蚕信仰	鷲宮 咲前神社 宮司 和田 雅之	一蚕と桑が神様の体から生まれたー古事記、日本書紀を紐解くと、我が国ではかなり大昔から養蚕が行われてきた形跡が見られます。長い歴史を有する養蚕の歴史から生まれてきた、伝承、民俗、信仰についてお話します。
11月28日 (土)	14:40～15:40	上州座繰器とその糸について	蚕絲館 主宰 座繰糸作家 東 宣江	江戸時代末期に群馬県で発明したとされる上州座繰器。蚕絲館では現在でもこの道具を使い、蚕の飼育から生糸製造を行っています。群馬県に息づく上州座繰器の歴史とそこから作り出される座繰り糸についてご紹介いたします。
	13:30～14:30	6 Aプロジェクトと生糸品質	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 所長 清水 重人	1950年代に日本が世界に先駆けて開発した自動繰糸機は、瞬く間に世界各国に普及した。そして、その生糸品質管理技術とともに生糸検査技術も世界のスタンダードとなった。現在、経糸用高格生糸はブラジルと中国からの輸入に頼っているが、日本の技術は？
15:50～16:00	14:40～15:40	群馬県立世界遺産センター 「世界を変える生糸(いと)の力」研究所 (セカイイト) が誕生しました	群馬県立世界遺産センター 所長 高橋 陽一	令和2年6月に、富岡製糸場と絹産業遺産群のガイダンス施設である『群馬県立世界遺産センター「世界を変える生糸(いと)の力」研究所 (セカイイト)』がオープンしました。皆様に乗込んでいただけただけの展示の内容や調査研究への取組など、セカイイトの魅力を紹介いたします。
	開校式			